

一般質問

ズバリ、町政を問う！

8人の議員が一般質問を行い、町の施策等について町長に対し論戦を挑んだ。

総務部門関連質問



穂土議員

- Q 筆の里工房の入場者数、入場料等は。
A 前年度比で増員、増収となっている。
(橋本助役)

Q 筆の里工房について、平成18年4月から12月までの入場者数、入場料及びその他の収入額はいくらか。また、RCCに支払っている放送料はいくらか。

A 入場者数、入場料及びその他の収入については(下記表を参照)、増収等一定の効果が上がっており、これは指定管理者制度への移行による職員の意識改革が大きな要因であると考えている。なお、RCCへの放送料については、企画展の主催名義使用料として、5件で5万7500円である。

筆の里工房の入場者数、入場料等収入(但し、4月~12月)

	平成18年度	平成17年度	増 減
入場者数	64,471人	39,081人	25,390人
入場料収入	18,484,290円	9,109,300円	9,374,990円
その他収入	67,196,686円	44,649,946円	22,546,740円

福垣内議員

- Q 各種団体への補助金の見直しを。
A 平成14年度と比べて、32%の減額を行っている。
(前土井総務部長)

Q 年ごとに厳しさを増す町財政の中で、平成18年度と前年度を比較すると、全体的に減額となった団体が多く見受けられた。その中で、平成19年度の各種補助金の対応はどうか。また、高額の団体への対応の中で、大幅な減額、または廃止の可能性の団体はあるか。

A 平成14年度に策定した「第3次熊野町行政改革大綱」に基づき、団体補助の段階的な削減を行っている。平成19年度では、団体活動の公益性、補助の必要性等の精査及び自主的な事業の見直しにより、対平成14年度比で32%の減額となっている。また、補助金の大幅な減額や廃止については、その都度内容を精査して対応したいと考えている。